

## Weather in Japan ～ Kogarashi: Cold Winds of Winter ～

Kogarashi refers to the dry, northerly winds that blow parallel to the isobars near Japan at maximum wind velocities greater than 8 m/s between late autumn and early winter when the typical winter weather pattern sets in and brings high pressure to the west and low pressure to the east. True to its name, which is written using kanji characters that mean “tree-withering wind,” the kogarashi blows leaves off trees so that they are left looking barren. It is also written using the single kanji character 凧, which originated from the combination of the characters for wind 風 and tree 木.

The first kogarashi of the year is called kogarashi ichigo (ichigo = no. 1), a term that appeared in newspapers for the first time in 1973. It is an indicator of the transition from autumn to winter, and is now widely considered a seasonal phenomenon that heralds the coming of winter. The Meteorological Agency announces the advent of kogarashi ichigo in the Kanto region and the Osaka District Meteorological Observatory in the Kinki region, but no announcements are made regarding similar winds that blow elsewhere.

にほん きしやう

日本の気象

こが

～ 『木枯らし』 ～

こが にほん ふきん ぼんしゆう しやとう あいだ せいこうとうてい  
木枯らしは、日本付近で晩秋から初冬の間に、西高東低の  
ふゆがた きあつはいち ととき とうあつせん そ ふ かんそう きた  
冬型の気圧配置になった時に、等圧線に沿って吹く乾燥した北  
よ かぜ さいだいふうそく まいびやう め ー とる いじやう はじ  
寄りの風のことです。最大風速が毎秒8メートル以上となって初  
こが にんてい こ は ふ ち  
めて木枯らしと認定されることとなりますが、木の葉を吹き散  
か き こが よ  
らし、枯れ木のようにしてしまうことから木枯らしと呼ばれて  
かんけい さだ  
います。また、これに関係しているかは定かではありませんが、  
こが こがらし ひやうき  
木枯らしは「凧」とも表記されます。

とく とし いちばんはじめ ふ こが ごう  
特に、その年で一番初めに吹く木枯らしを「木枯らし1号」と  
よ かた しんぶん ねん はじ とうじやう  
いいますが、この呼び方は新聞では1973年に初めて登場しまし  
こが ごう あき ふゆ うつ きじゆん  
た。「木枯らし1号」は、秋から冬へと移るひとつの基準となっ  
ふゆ とうらい つ きせつげんしやう いま たいへんみちか  
ており、冬の到来を告げる季節現象として、今では大変身近な  
こが ごう かんとうちほう  
ものとなっています。「木枯らし1号」は、関東地方については  
きしやうちやう きんきちほう おおさかかんくしやうだいい はっぴやう  
気象庁が、近畿地方については大阪管区気象台が発表していま  
ちほう どうじやう かぜ ふ こが ごう はっぴやう  
すが、ほかの地方で同様の風が吹いても「木枯らし1号」の発表  
はありません。